

提 案 書 作 成 要 領

「グループ・プライベートクラウド向けクラウドサービス（AWS）の提供及び
設計・構築等の支援の委託」

日本郵政インフォメーションテクノロジー株式会社
クラウドサービス本部

本調達においては、総合評価落札方式による委託先の適切な選定を目的とし、次に規定する要領に従って作成した提案書の提出を求めるものである。

したがって、提案書は、仕様書に定める要求要件について、応札者自身が満足する能力を有していることを証明する内容を求めるものであり、その内容について評価を実施するものとする。

なお、提案書の作成に当たっては、次の事項に留意すること。

- ・ 提案内容を簡潔に記載すること。
- ・ 特段の専門的知識を要することなく提案内容を評価できるよう配慮すること。
- ・ 提案内容について、根拠又は参考となる資料を添付すること。

1 提案書の様式

(1) 日本語で記載すること。

(2) A4判縦の用紙に横書きとする。ただし、図表等を使用する場合は、必要に応じて適宜の方法で使い分けるものとする。その際、文字等が見づらくならないように留意する。

(3) 見出し符号

ア 項目を細別するときは、次の項番順序による。

1 ○○○○

(1) ○○○○

ア ○○○○

(ア) ○○○○

A ○○○○

(A) ○○○○

a ○○○○

(a) ○○○○

注1：上記の項番で不足する場合には、適宜項番を設定し使用すること。

注2：イ、ロ、ハ・・・の順は用いない。

イ 図表には、上部に次のような番号及びタイトルを付与すること。

図△ ○○○○ / 表△ ○○○○

(4) 目次及びページ番号を付与すること。

(5) 提案書は、7部提出すること。

(6) ページ数は、総枚数 200 ページ以下（カタログ、パンフレット等を除く。）とする。

2 提案項目

提案書の記述項目は次のとおりとし、記述項目名称は提案書における各章の見出しとして使用すること。提案に当たっては、仕様書に定める要求要件をすべて満たす内容とし、総合評価基準の各項目の評価観点を踏まえ、具体的かつ明確に記述すること。

記述に当たっては、記述項目ごとに、仕様書該当項目との対応及び総合評価基準に定める要求要件に記述されている各評価観点との対応を記入すること。

(1) 必須要件（仕様書に定める要求要件）

仕様書に定めるすべての要件に対して満足する具体的な提案がなされていることを確認できるように仕様書の項番号に対比させた形式で記載すること。

なお、仕様書に求める機器等については、具体的な商品名等が確認できるカタログ、パンフレット等を添付すること。

(2) 必須以外の要件

次の項目について特に有益で具体的な提案がなされていること。

ア 相対評価項目

(ア) 30 システム以上の利用システムが稼働する金融機関、官公庁における AWS を利用した IaaS 共通基盤環境の構築実績、及び設計、構築、試験フェーズでの支援実績

(イ) 要員スキル

(ウ) AWS を前提とした CCoE の立ち上げを支援し、組成した実績

(エ) 構築期間中の重要課題、問題に対する AWS を含めた解決の迅速化の提案

(オ) 払い出しの自動化など AWS サービスを利用した運用自動化の実績

(カ) AWS サービスの操作方法（マニュアル整備等）に関する工夫・実績

(キ) その他、有益な提案

3 提案書等に関する照会先

日本郵政インフォメーションテクノロジー株式会社 クラウドサービス本部

担当 小池 和生 電話 080-5989-5194

渡辺 尚 電話 080-5989-4993